

A2-02 査読プロセス: 投稿から出版まで

植村 卓史 (東京大学・大学院新領域創成科学研究科)

投稿された論文は「査読 (Peer-review)」という審査プロセスを通り、出版物としてジャーナルに掲載の採否が決まります。学術出版における査読とは、その分野の専門家による論文の評価や検証を意味します。このプロセスはエディターをサポートするための専門家による論文の評価や検証を意味します。このプロセスはエディターをサポートするための専門家による助言システムであり、学術誌を支えるバックボーンでもあります。

では、査読はどのように行われているのでしょうか？ また、著者はどのような点に気を付けるべきでしょうか？ 本セッションは以下のような内容をカバーします。

- ・ 投稿から出版までのプロセスとその詳細
- ・ 編集部・エディターと査読者の役割
- ・ エディターから見た論文審査と注意点について

PROFILE

植村 卓史 (東京大学・大学院新領域創成科学研究科、教授)

2002年 京都大学 大学院工学研究科高分子科学専攻 博士課程修了後、京都大学 大学院工学研究科 合成・生物化学専攻 助教, 2010年 同所属准教授を経て, 2018年から現職. 2006年 JST さきがけ「構造制御と機能」領域研究者, 2013年10月 JST-CREST「構造制御と機能超空間制御に基づく高度な特性を有する革新的機能素材等の創成」研究代表者, 2013年 科学技術分野文部科学省大臣表彰 若手科学者賞, 2014年 第16回花王研究奨励賞, 2016年 第12回日本学術振興会賞, 2019年より Royal Society of Chemistry Dalton Transactions の Associate Editor.